

「人財」でお困りなら

株式会社  
**mi** ミヨシ・ロジスティックス

042-779-6619 <http://miyoshi-log.co.jp/>

題字制作：株式会社クタイムエヌシーデー

KANAKEI

かながわ経済新聞

税務・会計・経営支援

ALL 社 員 共 通

会社成長の専門家  
りんくグループ

042-730-7891  
[www.link-tax.com](http://www.link-tax.com)

ちようどいい  
りんく

2020年4月号 Vol.076

かながわ経済新聞 2020.4月号

吉田英訓の 連載記事が掲載されました

**アウトソーシング(外部委託)活用法**  
第4回：アウトソーシングのメリット

今回はアウトソーシングのメリットについて話をしていきます。一つ目のメリットは「業務の効率化と品質の向上」が見込まれます。

アウトソーシングを活用する場合、委託先となる受託側企業は、専門性が高い業務遂行能力を持っています。そのため、品質が担保されるメリットがあります。また、急遽必要となった業務でも、迅速に対応できることから、時間的コストも省くことができます。

自社で全ての業務を行うよりも、一部の業務をアウトソーシングにすることで業務効率化につながりやすく、組織のスリム化や全体最適にもつながるのです。

二つ目のメリットは「コア業務に専念できる」ということです。アウトソーシングは、企業が持つ経営資源（人・



吉田英訓の  
着眼大局 着手小局  
～人と企業～

モノ・カネ) を効率的に活用するための経営戦略です。経済がグローバル化し、不確実性が増している中、顧客のニーズも多様化・複雑化しています。そのため、企業は変動する顧客ニーズを迅速にキャッチし、柔軟に対応していかなければなりません。従業員が行っていた業務の一部をアウトソーシング化することで、工数の削減が可能となり、コア事業に経営資源を集中させることが可能になるのです。

また、その結果、企業が持つ「コア・コンピタンス」の強化につながり、競争優位性が確立できます。このようにアウトソーシングは経営の効率化・有効性を高めるメリットがあります。

今回は引き続きアウトソーシングにおけるメリット、そしてデメリットについても話をしていきたいと思えます。

(ミヨシ・ロジスティックス代表取締役/南西フォーラム委員長)

ヘッドライン ■小さくても輝く企業